



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

# SDGs 未来都市に

## 福津市は

### 選定されました

内閣府では SDGs の達成を目指し、優れた取り組みを提案する自治体を昨年度から「SDGs 未来都市」に選定しており、昨年度は 29 自治体、今年度は 31 自治体選ばれました。

市は 7 月 1 日、今年度の SDGs 未来都市として選定を受けました。

SDGs についての詳細は、広報 9 月 1 日号で特集します。

問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎ 43・8121



大嶋正紹さん  
元福岡南小学校長。日本一の郷川をめざす会の共同代表



藤田健作さん  
社会福祉法人天真会 いろどり真愛保育園の体育指導員

私たちが身近な SDGs  
上西郷川は多くの人の協力がかつてのように自然豊かな環境を取り戻しました。  
また上西郷川は現在、次世代の社会を担う子どもたちの学習の場にもなっています。  
環境保護の活動に取り組むことや、ESD をさらに推進することは、各国が丸となって取り組んでいる、持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」にもつながります。  
SDGs は国際社会の共通の



▲上西郷川で遊ぶいろどり真愛保育園の園児

# 上西郷川と SDGs

上西郷川でのさまざまな取り組みは、平成27年に国連のサミットで採択された、国際社会共通の目標である「SDGs」<sup>エスディーズ</sup>ともつながりがあります。

## 遊んで学べる 上西郷川

上西郷川は現在、周辺の保育園や小学校の学びの場にもなっています。

いろどり真愛保育園は、上西郷川を、川遊びの場として使っています。川遊びは子どもたちに人気の行事である反面、危険を伴います。職員は事前に水かさを確認したり、子どもたちにライフジャケットを着用させたりして、安全管理を行っています。藤田健作さんは会の発足当時からメンバーです。保育園としての立場で会に参加し、どこが危険か、どのような遊びができるかなど話し

たり聞いたりして、その情報を保育園の職員と共有しています。「子どもたちは川の遊び担当遊びの中で、自然の大切さや安全な遊び方を学んでほしい」と語ってくれました。

## 川を舞台にした 総合的な学習

福岡南小学校では4年生の時に1年間を通して、上西郷川のことを学習しています。今年度も、総合的な学習の時間に「大好き！上西郷川」というカリキュラムが組まれています。具体的には「上西郷川の生き物調査」や「上西郷川が日本一の郷川になるようアイデアを考えよう」未来の上西郷川について



▲生き物の調査に夢中の子どもたち

考える」など月ごとに活動があります。上西郷川を授業に取り入れた、元校長の大嶋正紹さんは「この学習は、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育である「ESD (Education for Sustainable Development)」と

いえるもの。上西郷川は小学校のすぐそばを流れる、身近な素晴らしい教材になっている」と話します。ESDとは、持続可能な社会を創るために必要な考え方を学び、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて、身近なところで行動を起こす力を身に付けることを目指すものです。  
上西郷川での学習は、子どもたちが河川環境をより良くしていく課題を、自らの課題として捉える機会につながっています。また、自らの環境との関わり方を考え、地域の人や九州大学、市と協力して、上西郷川をはじめとした自然環境を守り育てる活動にもつながっています。



▲SDGsの17の目標の中で上西郷川の取り組みに関係するもの